

ごあいさつ 45th Anniversary

札幌市長
秋元 克広



札幌市とドイツ・ミュンヘン市は、1972年の冬季・夏季オリンピック開催地に各々が選ばれたことをきっかけに、姉妹都市提携を締結しました。その後、学校間の交流やジュニアスポーツ交流、教育の先進事例を学び合う職員交流など、幅広い分野において関係を深めてきたところです。

2017年、姉妹都市提携から45周年を迎え、9月に私を含む市長訪問団、市議会議員訪問団、経済訪問団が、また、10月には市民訪問団がミュンヘン市を訪問し、祝賀行事など通して友好を確認しました。

世界最大のビール祭りである「オクトーバーフェスト」の開幕式典にもご招待いただき、ディーター・ライター市長をはじめ、バイエルン州のホルスト・ゼーホーファー首相や王族の方に、直接札幌の魅力をお伝えするという貴重な機会を頂戴しました。また、ミュンヘン市のエネルギー政策の先進的な取り組みを行う施設の視察などを通して、札幌のまちの将来を展望する上での着想を得ることもできました。

11月には、ミュンヘン市長の代理として、エヴェリン・メンゲス市議会議員、クリスティナ・フランク市議会議員、ライナ・ロシュ氏の3名を札幌にお迎えし、祝賀行事のほか、姉妹都市提携30周年を記念して始まった「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」のオープニングセレモニーにも参加していただきました。周年行事に合わせてのミュンヘン市訪問団の来訪は実に15年ぶりのことであり、相互訪問を実現できたことは、大変喜ばしいことであると考えております。

2022年には、札幌とミュンヘンは姉妹都市提携50周年を迎えます。交流の始まりから半世紀という大きな節目を迎えるにあたり、一人でも多くの市民の皆さんに姉妹都市ミュンヘンへの親しみを抱いていただけるよう努めていくとともに、培ってきた絆をさらに深化させ、互いのまちづくりにつながるものを学び合えるような関係を築いてまいりたいと考えております。

ごあいさつ 45th Anniversary

ミュンヘン市長
ディーター・ライター



2017年9月、姉妹都市提携45周年の記念事業の一環として秋元札幌市長とミュンヘンでお会いできたこと、また、「オクトーバーフェスト」の開幕式典にご出席いただいたことを大変うれしく思っています。そしてこの記念誌を通して、両市で行われている活発な交流事業についてご報告できることを感謝申し上げます。

1972年に姉妹都市提携を結んでからこれまでの間、北海道の中心都市である札幌と、バイエルン州の州都であるミュンヘンの間に、さまざまな交流が生まれてきました。その象徴として、札幌にはミュンヘン大橋が、また、ミュンヘンにはオリンピック公園にある「札幌通」やウエストパークの日本庭園、英国庭園の茶室が挙げられます。

札幌とミュンヘンの姉妹都市交流は、何よりも、人々の出会いとそこで培われる絆によって豊かなものになっていると感じています。スポーツ少年団の交流事業や、姉妹校提携を結んだ学校間の交流、ルートヴィヒ・マクシミリアン大学及びミュンヘン工科大学と北海道大学とのパートナーシップなどが、その好例と言えます。毎年、英国庭園で開催される「日本祭り」もミュンヘン市民に好評で、日本とミュンヘンの間に強いつながりを感じる機会になっています。経済・観光分野での関係も深まっており、ミュンヘン市在住の日本人は約3,000人となり、2016年だけで観光客としてミュンヘンを訪問した日本人は85,000人を超えました。

距離は離れていても、それを乗り越えて両市の友好関係を密にできることはとても素晴らしいことです。これまでの交流の歴史にふれ、姉妹都市提携50周年の大きな節目に思いを馳せながら、この記念誌を札幌市民の皆さんに楽しく読んでいただきますことを、心より願っています。

Dieter Reiter

祝 辞 45th Anniversary

札幌姉妹都市協会会長
福迫 尚一郎



札幌市とミュンヘン市が、冬と夏のオリンピック開催を縁として1972年に姉妹都市提携を行って以来、長い交流の歴史を積み重ね、45周年を迎えられたことをお祝い申し上げますとともに、心からうれしく思います。

この間両市は、経済、文化、スポーツなどさまざまな分野での交流を通じて、お互いの素晴らしい面を学び合い、市民同士の理解を深めてまいりました。

札幌姉妹都市協会では、この度の45周年を記念して、札幌国際プラザと共にさまざまな事業を展開いたしました。そのハイライトとも言える「ミュンヘン市民交流の旅」では、総勢20名余りの市民の方々と共にミュンヘン市を訪れ、現地の方々との交流の輪を広げました。今回の訪問ではアイヌ音楽の演奏家の方々にも同行いただき、ミュンヘンで活躍する音楽家の方々と一緒に記念演奏会を開催し、北海道の音楽や文化を伝えました。また、小学校を訪問して、アイヌ音楽を披露したほか、地域との連携の様子やダイバーシティへの対応など、先進的で発展的な教育現場の姿を学びました。さらに、バイエルン独日協会様のご協力を得て実現したホームビジット、ミュンヘン市に手配いただいた“まち歩き”など、行く先々で温かい歓迎を受け、これまでの長い交流によって培われた絆を実感することができました。

札幌においては、豊平館でドイツの音楽を披露したほか、ドイツ・バイエルン州の食文化と音楽に関するセミナーや「市民交流の旅」などの記念事業のパネル展及び報告会を開催し、市民の方々にドイツとミュンヘン市に対するさらなる関心と理解を深めていただくこともできました。

2022年は姉妹都市提携50周年という大きな節目を迎えます。今後もさまざまな事業を通して両市の親交をより活発化させ、相互理解と信頼を築くことが、さらなる交流の歴史に繋がることを考えております。

引き続き当協会は、札幌市民とミュンヘン市民の交流をつなぐ架け橋となるよう努めてまいりますので、今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。

札幌・ミュンヘン姉妹都市提携45周年記念事業

2017年を振り返って

札幌市とミュンヘン市は、1972年、札幌で冬季オリンピック、ミュンヘンで夏季オリンピックを開催したことを契機として姉妹都市提携を結び、これまでにさまざまな分野での交流が続いています。

姉妹都市提携45周年を迎えた2017年は、両市の代表による相互訪問が実現したほか、札幌市内ではさまざまな記念イベントも行われました。

札幌からミュンヘンへ

公式訪問団によるミュンヘン訪問

2017年9月、姉妹都市提携45周年を記念し、秋元市長を代表とする市長訪問団6名、市議会議員訪問団15名、経済訪問団13名の計34名がミュンヘンを訪問しました。



フラウエン教会

写真提供：ドイツ観光局



オクトーバーフェスト

ミュンヘンでの主な行事

日程	主な行程	市長団	議員団	経済団
9月14日（木）	ミュンヘン市長表敬訪問 姉妹都市提携45周年記念レセプション 在ミュンヘン日本総領事館表敬訪問	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
9月15日（金）	ミュンヘン新電力公社視察 職業訓練学校視察 ミュンヘン・テクノロジーパーク視察 ドイツ博物館視察	○ ○ ○	○ ○ ○	
9月16日（土）	オクトーバーフェストオープニング式典	○	○	



姉妹都市提携45周年記念レセプション

札幌とミュンヘンの姉妹都市提携45周年を祝う記念レセプションが、ミュンヘン市主催で開催されました。札幌市からは市長訪問団をはじめ、市議会議員訪問団、経済訪問団の計34名が参加しました。一方、ミュンヘン市からは、ディーター・ライター市長、エヴェリン・メンゲス市議会議員、ツーレック教育スポーツ局長などが参加しました。

レセプションは、45年前に板垣市長とクローナピッター市長が姉妹都市提携の調印をした時と同じ会場で行われました。現地の子どもたちが奏でる和やかな音楽の中、姉妹都市提携45周年の記念すべき節目をお祝いし、両市の関係を今後一層深めていくことを確認しました。



秋元市長による挨拶



ミュンヘン市からの記念品の進呈



厳かな演奏で会場を和ませる現地の子どもたち



記念レセプションの様子



まちづくり先進事例視察

■ミュンヘン新電力公社（シュタットベルケ・ミュンヘン）

「シュタットベルケ」とは、自治体が出資するインフラサービス企業のことです。

「シュタットベルケ・ミュンヘン」は、ミュンヘン市の電力・ガス・熱供給事業、交通事業、水道事業、プール事業、通信事業を一手に担っており、事業規模は年間8,000億円以上にもなります。今回の視察では、同社の技術管理部門責任者に、地熱による熱供給プラントを案内していただきました。

視察先では、地下3,000メートルから約90℃の熱水を汲み上げて地域に循環させ、周辺の建物で地熱エネルギーを有効利用する「地域熱供給」や、再生可能エネルギーにより発生させた電力を地域で活用する取り組みについて説明を受けました。

札幌市では、都心部の新たなエネルギー計画「都心エネルギーマスタープラン・アクションプラン」の策定を進めているところであったため、その参考となる有意義な視察になりました。



■ミュンヘン・テクノロジーセンター

中小企業120社にオフィススペースを提供し、無料の経営相談を行うなど、企業の支援に積極的に取り組む「ミュンヘン・テクノロジーセンター」を視察しました。

この施設は約30年前にミュンヘン市が創立。入居企業への創業時の煩雑な手続きのサポートや経営・販売戦略のアドバイス、法律相談など、ビジネスを定着させる上で必要な支援を行っています。

視察時には、同センターに入居する企業2社から、提供しているサービスについて説明を受けました。サービスの内容は、電気自動車の充電スタンドの位置を地図上に示し、使用予約をできるスマートフォン・アプリや、多臓器不全の患者向けの人工透析機器など、斬新なものでした。





■ドイツ博物館

年間約140万人が来館するドイツ博物館を訪問。館長や展示物収集の責任者から、同館の特徴について説明を受けた後、館内を案内していただきました。

ドイツ博物館は、多くの展示品に触れることのできる体験型の施設になっており、子どもはもちろん、幅広い世代が楽しめる工夫が随所に施されています。

視察時には、来場者が政治家になりきって環境に関する自分の意見を表明したり、クイズやゲームの形式でエネルギー政策とまちづくりを学んだりできる企画展が行われていました。

考え抜かれた展示手法を通して、さまざまな意見や価値観を踏まえたうえで環境エネルギー政策が進められていることが分かり、ミュンヘン市の環境意識の高さをあらためて認識する機会になりました。



■職業訓練学校（札幌市議会議員訪問団）

札幌市議会議員訪問団が、ミュンヘン市立の職業訓練学校及びマイスター訓練学校の視察を行いました。

ドイツでは、マイスター制度という独自の職業制度があり、国家試験に合格し、マイスターの資格が無ければ手工業関係業種の開業や教育をすることができません。

フランケ校長、ドレクセル副校長、マーシャル氏（ミュンヘン市国際教育・スポーツ交流担当）によると、ドイツには日本のような終身雇用の考え方は基本的にはなく、職業訓練による資格取得は安定的な雇用のために有効な方法であり、資格を取得するとほぼ100%が企業等に就職できるとのこと。労働環境における日本とドイツとの文化の違いを再認識する視察となりました。



オクトーバーフェスト開幕式典

ミュンヘン市からの招待を受け、世界最大のビール祭りであるオクトーバーフェストの開幕式典に出席しました。

秋元市長は、ミュンヘン市のディーター・ライター市長をはじめ、バイエルン州のホルスト・ゼーホーフー首相や王族の方と席を並べ、歓談を通して、札幌の魅力をミュンヘン市やドイツの有力者にPRすることができました。

会場では来場者たちが生演奏に合わせて思い思いに歌って踊り、大盛況でした。会期中に訪れる約600万人の来場者のうち、約7割はミュンヘン市民であると言われるこのイベント。世界中の観光客を呼び込みながらも市民に親しまれ続ける理想的なイベントの在り方を、肌で感じる機会にもなりました。



世界に広がる“ラーメン文化”視察

札幌を代表する食文化である味噌ラーメンが、ドイツでも親しまれていることから、札幌に本社を構える西山製麺株式会社の麺を使用している店「ラーメン匠」を市長訪問団が訪れました。

現地で対応していただいた西山社長によれば、「札幌の味噌ラーメンをそのまま現地に持ち込む」という方針で、現地向けに味を調整することは基本的に行っていないとのことでした。



オープンから15分ほどで店は満席。平日であるにも関わらず並んでいる客もおり、大変なにぎわいでした。日本のアニメで登場人物がラーメンをすすめる姿にあこがれて訪れる若者も多いとのこと。札幌ラーメンがドイツ・ミュンヘンの市民に受け入れられていることを実感しました。



在ミュンヘン日本国総領事館訪問

ミュンヘン市における日本国の代表である総領事に敬意を表するため、在ミュンヘン日本総領事館を表敬訪問しました。

柳総領事から、ミュンヘン市を中心とする当地情勢について詳細な説明があった後、市長や市議会議員訪問団のメンバーとの活発な質疑応答が行われました。



ミュンヘン市民交流の旅（札幌市民訪問団）

札幌とミュンヘンの姉妹都市提携45周年を記念し、市民同士で両市の友好のさらなる発展を図るため、2017年10月6日から13日の8日間、市民訪問団21名がミュンヘンなどを訪問しました。

現地では、ミュンヘン在住の音楽家をはじめ、訪問団としてミュンヘンを訪れたアイヌアートプロジェクトによる「記念コンサート・交流会 ～札幌より愛を込めて～」を開催。訪問団員やミュンヘン市民など88名が参加し、バイエルンの音楽とアイヌ民族音楽を堪能しました。そのほか、バイエルン独日協会会員家庭へのホームビジット、ミュンヘン市ヴィンテル広場小学校への訪問などを通じて、市民同士の交流を深めました。

また、帰札幌後の11月30日には、札幌国際プラザを会場にドイツ文化の紹介を交えた報告会を実施。訪問団として参加した市民など25名が出席し、姉妹都市ミュンヘンをより身近に感じていただくことができました。



ミュンヘン市新市庁舎前にて



ミュンヘンヴィンテル広場小学校での交流会



スポーツ交流

国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流

札幌市では、国際感覚豊かな人材を育成することを目的として1985年から姉妹都市間での青少年のスポーツ交流を行っています。

姉妹都市提携45周年事業の一環として、2018年1月21日～27日までの7日間、市内の中学生女子バスケットボール選手12名を含む18名の札幌市選手団をミュンヘン市に派遣しました。

現地では、ミュンヘン市の中学生との交流試合を3試合行い親善を深めたほか、オリンピック公園やフラウエン教会などの名所も視察。ミュンヘン市議会議員のエヴェリン・メンゲス氏らが歓迎の意を込めて準備して下さった昼食会にも出席しました。

参加した生徒たちは、バスケットボールを通じて、ドイツ・ミュンヘンの文化にふれる貴重な経験をすることができました。



ローゼンインセルレガッタへの出場（札幌ボート協会）

姉妹都市提携45周年を機に、札幌ボート協会の5名が、ミュンヘン市近郊で開催するボートレースに出場するため、ドイツを訪問しました。

大会名は「ローゼンインセルレガッタ」。2017年9月23日、シュタンベルク湖を会場に行われました。

札幌ボート協会は、2002年にミュンヘンボートクラブから招待を受けて同じ大会に出場するなど交流がありましたが、近年はほぼ連絡が途絶えていました。そこで、さらなるボート競技の普及・振興を目指す中川信治会長が、提携45周年を機に交流を再開することを熱望。札幌市国際交流員なども支援し、実現に至りました。

大会には、札幌ボート協会とミュンヘンボートクラブの選手が混成チームを組んで参加。市民レベルでのスポーツ交流が、長年に渡る姉妹都市交流を盛り上げています。





ミュンヘンから札幌へ

公式訪問団の来札

2017年11月22日から27日にかけて、ミュンヘン市長の代理として、エヴェリン・メンゲス市議会議員、クリスティナ・フランク市議会議員、ライナ・ロシュ氏の3名が札幌を訪れました。5年に一度の節目にミュンヘンからの訪問団が訪れるのは、2002年以来15年ぶりのことでした。

姉妹都市提携45周年記念祝賀会には、2017年9月から10月にミュンヘン市を訪問した市議会議員訪問団、経済訪問団及び市民訪問団員のほか、札幌市内でドイツ関連の事業を展開する企業、国際交流団体の方々など124名が集まり、ミュンヘン市訪問団の皆さまを歓迎するとともに、記念すべき年を盛大に祝いました。

ミュンヘン市訪問団は、ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporoのオープニングセレモニーやスポーツ関連施設の行政視察、企業訪問などのプログラムに参加。それぞれの場での情報交換を行うことで知見を深め合い、互いの都市のまちづくりにつながる貴重な機会とすることができました。



札幌・ミュンヘン姉妹都市提携45周年記念祝賀会



アトラクションとして披露された「ジャンベ太鼓」を体験

主な行事

日程	主な行程
11月22日(水)	札幌市議会議長表敬訪問
11月23日(木)	サッポロビール博物館視察 札幌ドイツ連邦共和国名誉領事訪問、行政視察(札幌ドーム)
11月24日(金)	札幌市長表敬訪問 札幌商工会議所副会頭表敬訪問、企業視察(西山製麺株式会社) 札幌・ミュンヘン姉妹都市提携45周年記念祝賀会
11月25日(土)	企業視察(バルナバフーズ株式会社) 大倉山ジャンプ競技場・オリンピックミュージアム視察 ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo オープニングセレモニー 札幌市議会日独友好議員連盟懇親会
11月26日(日)	行政視察(円山動物園)



札幌市内で行われたイベント

第16回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo

札幌とミュンヘンの姉妹都市提携30周年を記念して2002年に始まった「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」。16回目の開催となる今年は、姉妹都市提携45周年を記念したさまざまな企画を展開し、たくさんの皆さんにドイツ・ミュンヘンの文化に親しんでいただくことができました。



【日 時】2017年11月25日(土)～12月24日(日)

【場 所】大通公園2丁目

【来場者数】134万1千人

姉妹都市提携45周年を記念した取り組み

■オープニングセレモニー

開幕初日の16時から、ミュンヘン市訪問団の3名も参加して盛大に開催。テレビ塔をドイツ国旗をイメージした3色にライトアップして、メモリアルイヤールをお祝いしました。



■子どもサンタパーティー

12月6日の「聖ニコラウスの日」に、サンタクロースの衣装を着て来場した子どもにお菓子をプレゼントする企画。86名の子どもたちが集まり、会場は大いににぎわいました。



■世界の音楽ステージ

姉妹都市提携45周年を祝い、例年以上にドイツの民謡や童謡を数多く演奏。ドイツ人のチェロ奏者も出演し、会場は本場ドイツさながらの雰囲気になりました。



■ドイツの文化紹介ワークショップ

クリスマスツリーやオーナメント制作などのワークショップを計15回開催。材料は木や毛糸などの自然素材を使うなど、大人から子どもまで安心して楽しめるイベントになりました。





オータムビヤフェスト

札幌・ミュンヘン姉妹都市提携40周年を契機に始まったオータムビヤフェスト。「ビールのみちさっぽろプロジェクト」の一環として、札幌のビール文化をさらに盛り上げるために2012年以降、毎年開催されており今回で6回目を迎えました。

期間中、姉妹都市提携45周年にちなみ、ドイツ産の麦芽・ホップを使用した限定ビール「さっぽろミュンヒナー2017」や、アイスヴァインやプレッツェルなどのドイツ料理が堪能できる「札幌×ミュンヘン45周年スペシャルプレート」などの料理を販売。来場された方が気軽にドイツ料理を堪能できる機会になりました。

札幌のパフォーマーによるステージイベントなども展開し、来場者がビールや食、音楽などを思い思いに楽しみ、会場は大いに盛り上がりました。

【日時】2017年10月6日～8日（3日間）

【場所】サッポロファクトリー アトリウム・煙突広場

【来場者数】8,000人



たくさんの来場者でにぎわった会場



限定ビール「さっぽろミュンヒナー」

福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデンでのPR

在札幌ドイツ連邦共和国名誉領事館であるサッポロビール株式会社北海道本社の協力をいただき、2017年7月20日から開催された福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデンの8丁目会場で、札幌・ミュンヘン姉妹都市提携45周年のPRを行いました。

会場では、札幌とミュンヘンの交流の歴史が分かる映像を、会場内の大スクリーンなどに放映したほか、ミュンヘンの魅力を掲載したうちわを2,000本制作し、会場で配布。市民の皆さんに姉妹都市ミュンヘンを身近に感じていただくきっかけになりました。



札幌国際プラザによる記念行事

■ドイツを知るセミナー「バイエルンの歌と料理を楽しみましょう！」

2017年7月8日、狸小路にあるビアホールで、バイエルン州の民族音楽を聞きながらビール文化にふれるセミナーを開催しました。企画・講師は札幌市国際交流員のレオナルド・プリンクマン。45名の参加者は、ユーモアを交えた文化紹介に耳を傾けながら、2種類のドイツビール、プレッツェルやソーセージに舌鼓を打ちました。



■記念コンサート「室内楽の夕べ in 豊平館」

2017年11月6日、豊平館でドイツ音楽に親しむコンサートを開催しました。出演者は、札幌で活躍する若手音楽家4名。優雅な雰囲気の中、ドイツの作曲家のシューマンやライネツケ、日本人になじみの深い「トルコ行進曲」や「赤とんぼ」の楽曲が演奏され、79名の参加者はクラシック音楽に酔いしれました。



■記念パネル展

2017年12月1日～8日、札幌国際プラザでミュンヘンの歴史や文化について知ることができるパネル展を開催しました。

来場した多くの方々に、気軽に姉妹都市ミュンヘンの魅力や文化、札幌との交流の歴史を知っていただくことができました。



■ドイツ語を楽しむ会 ～バイエルン方言編～

2018年2月24日、札幌国際プラザを会場に、ドイツ語での会話を楽しむイベントを開催しました。内容は、参加者が少人数のグループに分かれ、一般的なドイツ語にバイエルン地方の方言を織り交ぜた台本をもとに、寸劇を演じるもの。17名の参加者たちは、難しい方言に苦戦しながら、ドイツ文化の奥深さを実感していました。

